



笹中だより

伊丹市立笹原中学校学校通信第3号

平成29年6月5日

編集責任者 校長 太田洋子

いよいよ中学校給食が始まりました！



6月1日（木）。いよいよ伊丹市で、中学校給食がスタートしました。

この日のメニューはポークカレーライスと海藻サラダ、牛乳、バレンシアオレンジでした。

伊丹市の藤原市長が笹中を訪れ、3年1組の生徒たちと一緒に給食を食べられました。

市長から「給食にどんなメニューを入れてほしいですか？」と訪ねられたときに、生徒たちからは、「寿司」「焼き肉」といった声が出てきました。

もしかしたら、生徒の希望が実現するかもしれませんね。

新聞社からの取材を受けた生徒からは、「温かい給食でおいしい。いつか、ステーキが出たらうれしい（伊藤陽佑）」「おしくておかわりした。温かいご飯を食べながら友達と話すのは楽しい（長谷旭）」「お母さんのお弁当もおいしかったけど、温かい給食もおいしい（川畑拓海）」との声が聞かれました。

また、この日は、トライやる・ウィークでFM伊丹で活動を行っている2年生の松村隼佑君が、MCとして、中学校給食について藤原市長にインタビューを行いました。



5月29日～6月2日まで行われた「トライやる・ウィーク」では、それぞれの事業所で2年生が積極的な活動を行いました。特に今年の2年生が素晴らしかったのは、1週間の活動中に欠席した生徒が誰もいなかったということです。そのことから今回の活動が不成功であったと言えると思います。最終日、野間幼稚園では、全園児がホールに集まって、「お兄さん先生、お姉さん先生とのお別れ会」が行われました。2年生の13名がクイズや歌を子どもたちに披露し、その後の園児の作った花道では、涙のお別れがありました。



3年生では、修学旅行の振り返りとして、俳人の木割大雄先生を招いての「沖縄の思い出を俳句にする講座」、郵便局の方を招いた「伊江島の民泊先へのお礼の手紙の書き方講座」を行いました。

「おっかあ、お元気ですか。先日は本物の家族のように優しくしていただきありがとうございました。夜に連れて行っていただいたビーチでは、バレーやビンゴ大会など夢のような時間を過ごせました。皆で作ったサーターアンダギー

はとてもおいしかったです。また、会える日が楽しみです。」

1年生は、林間学校を終えてから、「挨拶の声が大きくなった」「集合の時の姿勢がよくなった」という声をよく聞くようになりました。少しずつ、中学生としての自覚も出てきたように思います。

どの学年も、行事で得たものを、これからの学校生活に活かしてもらいたいと思います。

給食当番のマスク忘れの対応について



学校給食では、給食当番は、衛生上エプロンとマスクを着用しています。エプロンを忘れた場合は、貸し出しをさせて頂いております。

ただ、マスクを忘れた場合については、衛生上使い捨てのものを1枚10円で販売しております。マスクを忘れた当日に10円を生徒が持っていない場合には、学校で立て替えて支払いますので、後日学年の職員にお渡しいただきますようお願いいたします。ご理解の程よろしく願いいたします。

携帯・スマホの使い方について（注意喚起）

子どもたちの、スマホ・特にLINEの使い方について、心配されている保護者の声をお聞かしています。

これまでも、人権に関わる内容（からかい・悪口等）があり、指導をしてきた経緯はありますが、最近は中学生としてふさわしくない下品な内容が含まれたLINEがやりとりされているということがあようです。

学校としても、学年集会で具体的な例をあげて、不用意に送った内容が犯罪に関連することがあり、補導や逮捕される場合もあるという話をしています。そして、大きな事案になる前に、防ぎたいと強く思っています。

各ご家庭でも、お子様と話し合い、家庭でのルールをもとに、携帯・スマホの適切な使い方について考えていただきたいと思います。そのことが、お子様が事件を起こさない、事件に巻き込まれないことになるとと思います。



★メール配信の登録は済んでいますか？

登録可能日を6月30日までにしますので、まだの方はこの機会に登録を済ませてください。（登録は右のQRコードから）

